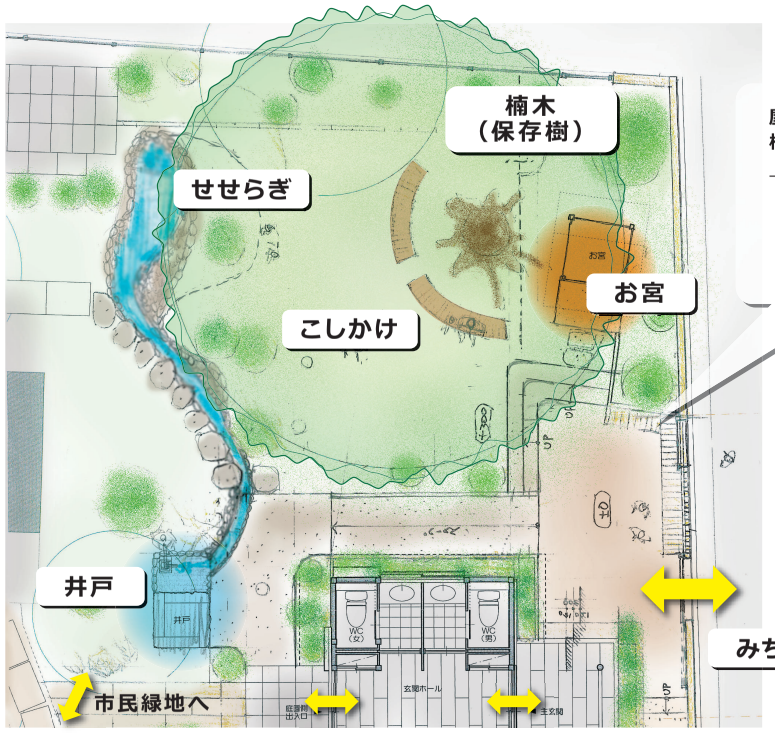
自ら考え、自らつくり、自らまもる

「小さな鎮守の杜（ちんじゅのもり）」づくり

地域の中に、ホッとできる憩いの場をつくる



屋敷地北西のお宮、
楠木（保存樹）、井戸：
→「小さな鎮守の杜」づくり
長年当家を見守ってきた小さな空間を
まちの憩いの場として一般開放し、
まちを見守る杜へ再整備

小　住　宅　：
戦後復興期の民芸建築（延床面積：13 坪）
平成 23 年に国登録有形文化財へ登録

2 階 建 住 宅：
一般利用施設として
耐震改修工事中

南　庭　：
平成 25 年 4 月
「大原一丁目 柳澤の杜市民緑地」
として一般開放

みんながつどう

100 年変らない風景・笑顔の集まる場所づくり

1 年目：自ら考える（地域の方々と共に企画、計画する年）

- **お宮、楠木（保存樹）、井戸と、小住宅（国登録有形文化財）、南庭（柳澤の杜市民緑地）、2 階建住宅（一般利用施設）との繋がりへの配慮**
- **周辺環境への配慮**
- **省エネルギー化への配慮**
- **バリアフリーへの配慮**
- **こしかけ・せせらぎ池等の附帯施設の整備　…etc.**

2 年目：自らつくる（地域の方々共に製作、施工する年）

3 年目：自らまもる（地域の方々と維持・管理計画を立て実行する年）

? 柳澤家とは・・・
江戸中期から現世田谷区大原に住んでいた旧家

? 柳澤君江とは・・・
柳澤家の女性当主。書家（書家名：柳澤敬素）。
大正 8 年 4 月～平成 23 年 10 月

? 旧柳澤邸を保存・活用する会とは・・・
柳澤君江の意思を継ぎ、屋敷地を含めた
柳澤家住宅を活用して社会貢献を実現する